

H23 年度科学・技術関係予算概算要求 個別施策ヒアリング  
【施策番号 24135：最先端研究開発戦略的強化費補助金（文部科学省）】

- 1 日時：平成 22 年 9 月 22 日 14：00～14：30
- 2 場所：中央合同庁舎 4 号館 2 階 共用第 3 会議室
- 3 聴取者：本席議員、相澤議員  
外部専門家 0 名（うち若手 0 名）
- 4 説明者：文部科学省研究振興局振興企画課学術企画室 田中室長、内閣府政策統括官（科学技術政策・イノベーション担当）付参事官（最先端研究開発支援プログラム担当室） 竹田参事官

5 施策概要

グリーン・イノベーション及びライフ・イノベーションを中心に、基礎研究から出口を見据えた研究開発を行う最先端の研究設備の整備・運用に必要な支援を行い、「頭脳循環」の実現による研究開発力の強化を図る最先端研究基盤事業と、最先端研究開発支援プログラム全般及び当該中心研究者・研究課題の研究内容を広く公開する活動に対して助成を行う最先端研究開発支援プログラム公開活動からなる。

6 質疑応答模様

【本席議員】

来年度の予算は本年度採択した 14 事業の後年度負担で、一部シンポジウムに使うということか。

【文部科学省】

その通り。

【本席議員】

現在の 14 事業の終了後に新たな事業を立ち上げる可能性があるのか。

【文部科学省】

そういう事も検討したい。

【本席議員】

来年度は、具体的に出ている事業の後年度負担ということは理解した。一部で 2 年目や 3 年目に計画がないものがあるが、どういうことか。設備整備が終わるということか。

【文部科学省】

その通り。それから、運用基本方針の中で、支援は最大 3 年間とされており、実施機関から 1 年あるいは 2 年の計画として提案されたものである。

【本席議員】

もし新たに次のフェーズを立てる場合には、14件は対象外で全く新たに募集するということか。

【文部科学省】

基本的にはそう考えている。

【本席議員】

今回の14件は文科省を中心として選考したと説明を受けているが、その選考に不満があるという声を聞いた。次のフェーズを掲げる時は時間が十分にあるので、十分に配慮してきちんとした仕組みを作って頂きたい。今回は短期間で実施したという点もあるので、充分検討して頂きたい。

【文部科学省】

選定の観点について研究者から意見を募ったが、ご指摘の通り、短期間の中での募集だったため、新たな支援を考える場合には選定の観点も含めて、改めて学術研究コミュニティの意見も吸い上げたい。

【相澤議員】

このプログラムは全体の位置付けがなかなか難しい。一番の問題点は、研究設備の充実にあまりにも力点が置かれすぎている。もう1つの目的である頭脳の国際循環における拠点となるという部分が具体的にどう展開されるかが明確ではない。来年度は運用の段階なので、ぜひその点を明確にして、具体的に何をするのか提示されるべき。

【文部科学省】

一つは若手の頭脳循環という観点、最先端・次世代研究開発支援プログラムと相互補完するという事で若手・女性を惹きつける研究設備を整備しようというのが主な内容。ただ、惹きつけた上で研究活動が活性化するのが重要。経費の一部について、例えば研究支援者を雇用する経費や若手・女性研究者の旅費など、施設に来られる若手・女性が研究を行うための経費も措置している。また、若手・女性への配慮も採択における選定の観点到に記載している。例えば、若手・女性の優先的な枠を設けている事業もある。

【相澤議員】

今の回答は国内の話。資料に記載してあるのは国際的な頭脳循環。それに対しての明確な方針がない。

【本席議員】

関連して、5番の「生命動態システム科学研究の推進」など、設備を整備して終わりになる訳ではない。今年、理研から担当者も同じで、似たプロジェクトが別の所に出ている。位置付けが不明確。スパコンでも同じような顔ぶれで同じような中身の話が出てきている。競争的資金制度では重複排除と言いながら、大型のプロジェクトではこういうことが起きている。14番の「KEKBの高度化」も切り分けが不明瞭。そういう部分もわかり難い施策という印象。全国の人がそう言っている。レビューする際に、設備を整備したから良いということにはならない。整備した設備で何ができたのか。そこをきちんと目標にしないと。様式6に達成目標の例として書いてあるが、まだあいまいな部分がある。

#### 【文部科学省】

国際拠点に関しては、ポテンシャルを有しているかどうかを選考基準に入っていた。例えば、KEKBについては、海外の研究者と既に共同研究をしている。その上で、この事業で支援できるものは支援する。この補助金の主な支援対象が設備なので、KEKBなどについては、この補助金では支援できない施設費などを別途運営費交付金で措置している。経費によって選定の観点や支援対象が違うということから、対象として重なっているということはある。事業終了後に評価することになるので、設備の整備を通じてどのようなことが成し遂げられたかなどの評価の充実ということに関しては意を図っていきたい。

#### 【相澤議員】

あいまい。今日行った文部科学省関係の概算要求だけでも、ここに相当ワーブしている。本席議員が指摘していること以外にも、例えば光・量子の研究ネットワークを強化するというのもかなり出ている。それ自体はこういうプロセスの中で選定されてきたので、それなりの論理はあるだろう。このプロジェクトがあいまいと言ったのは、このプロジェクトは何を目指しているかが明確ではないので、その点を明確にして頂きたい。施設整備と頭脳循環。施設整備は明らかだが、頭脳循環が極めて明確ではない。この仕組みで初めて頭脳循環ができるということを確認して頂きたい。

以上